

# ECO活動への取り組み

## 環境負荷低減事業

### ■太陽光発電事業

- ・「RKKソーラーパーク・荒尾」(2013年10月より稼働)
- ・環境負荷低減事業の一環として、また遊休地の有効活用手段として、ラジオ送信所(荒尾市)の敷地 14,000 m<sup>2</sup>の土地を利用した、太陽光発電事業を開始。(20年間運用予定)
- ・年間予定発電量: 950MWh(最大発電電力 :890kW)  
一般家庭に換算すると、約 264 世帯分(1 世帯あたり 3,600kWh として算出)。
- ・太陽光発電で得られた電力は九州電力株式会社に売電。
- ・この取り組みを通し、太陽光発電の必要性、安全性を分かりやすく提示し、再生可能エネルギーへの理解を深めてもらう。
- ・本館見学者スペースにおいて、太陽光発電の仕組みや日ごとの発電量などの専用画面を表示。日ごと・月ごと・年間での発電量を数値化、グラフ化するなど、社の取り組みを分かりやすく伝えている。同時に、アンテナに設置したカメラで、ソーラー発電所のライブ映像を紹介。ソーラー発電の様子を視覚的にも伝える工夫をしている。
- ・この事業により削減される CO<sub>2</sub>の量は、1年間で **476.9t-CO<sub>2</sub>**。  
(この CO<sub>2</sub>削減量は、RKKソーラーパーク荒尾の 2022年 4 月～2023年3月の年間発電量 1,052,900kWh に、九州電力(株)の 2022年度の CO<sub>2</sub>排出係数 0.000453t-CO<sub>2</sub>/kWh を乗じたもの。)

## 社内における環境負荷低減活動

### ■森林資源による削減活動

- ・自社所有の山林の育成、整備と伐採を森林組合と定期的実施しており、分収育林で関係する熊本県林業公社などと連携を図りながら、森林資源の育成と水資源の保全活動に向け山林の養生に努めていく。
- ・所有森林の二酸化炭素吸収量の算出を実施  
<(IPCC)に準拠した算式により 2009 年度の実態から独自算出>  
熊本放送の所有する山林の二酸化炭素吸収量は、2,999 t-CO<sub>2</sub>/年と算出。

### ■電力・ガスの使用量削減

- ・LED照明を導入。(2012年6月～)
- ・テレビ放送送出関係機器(地上波デジタル放送第1世代機器)を大幅更新(2021年度末までに完了)、これにより、月間の電気使用量で、30,000～35,000KW、前年同月比で 15%前後の節電を実現。
- ・毎月の電気・ガス使用量と金額をメールで社内周知。
- ・消灯時間設定(昼休み 12時から 13時:夜 22時消灯)

- ・土曜・日曜を含め帰宅時に、照明やパソコンなど身の回りにある電気製品の電源スイッチを切り、無駄をなくす節電を実施。
- ・パソコンについては、90分以上使用しない場合、電源を切る。また、休憩時間、会議などで離席する場合はアプリケーションを閉じ、スリープモードを使用。
- ・各部署のテレビ、電灯、空調は、帰宅時には電源OFF。夜間巡回の際に照明、テレビなどの消し忘れをチェックし、該当部署には注意を促す。
- ・クールビズの実施 5月～9月(この前後も気温が高い場合、服装は各自で調整を呼びかけ)  
夏季空調室温 28 度。及び空調時間設定 9 時から 21 時まで。  
自動販売機のディスプレイ箇所の消灯及びタイマー運転の依頼。(販売会社により自主的に省エネ型に交換されたものもある)
- ・ウォームビズの実施 11月～3月  
(この前後も気温が低い場合、服装は各自で調整を呼びかけ)  
冬季空調室温 22 度。空調用の社内循環温水の温度を下げることによりガス使用量削減。  
及び空調時間設定 9 時から 21 時まで。
- ・エレベーター運行の制限。  
平日 9 時～19 時のみ 2 台運行。夜間・休日は必要な場合に限り、事前申請により 2 台運行。  
※2016 年度は熊本地震による業務量の大幅な増大で、夏の冷房や照明の長時間使用も止むなしとしたが、長期的には節電・節ガス傾向はほぼ継続していた。  
※2020 年 2 月以降は、全国的な新型コロナウイルス感染拡大と、社内感染防止のため、1 年を通して社内換気を徹底、窓解放による換気も奨励したため、冷暖房効率は若干低下、さらに 2021 年度ガス空調機の老朽化による不調により、ガス使用量は増加傾向。(本ビルはガス冷暖房設備が中心のため⇒数年内の空調機更新に向けて検討中)

## ■その他の燃料・資源の使用量の削減

- ・取材車、営業車などの小型乗用車を中心に、車両更新時に多くをエコカーに変更。
- ・ノートパソコン、タブレット持参で会議出席を励行。紙での文書・資料の配布を削減。
- ・社用車のアイドリングストップの励行。乗り合せの励行。
- ・インクカートリッジのリサイクルなど廃棄物の再資源化。
- ・コピー用紙の削減呼びかけ・不要コピー用紙の裏面活用・両面コピーの励行。
- ・機密文書や使用済み用紙のリサイクルとして、2013 年 11 月より溶解処理を採用。古紙のみにとどまらず、廃プラスチックや金属、溶解に使用した水までリサイクルできるシステム。個人情報漏洩防止と同時に、環境負荷軽減・シュレッダー不使用による節電など多面的な効果を生んでいる。

## CO<sub>2</sub>排出削減の目標設定について

熊本放送は、メディア企業の社会的責任として、地球環境保護と温暖化防止の取り組みを実施しています。

電気・ガス使用による CO<sub>2</sub>排出量の削減目標については、2013 年度～2017 年度の 5 年間で 5%削減することを目標に取り組みを進めました。その結果、以下の表のとおり、単年度比較で、5

年のうち4年で前年比マイナス(初年度は+0.05%)、5年間でのCO2排出量の減少は、429,6t、24,9%となりました。

※2012(平成24)年度のCO2排出量 1,726.7 t-CO2を最初の基準として計算

目標年度	CO2排出量 (t-CO2)	前年比削減率 (%)
2013(平成25)年度	1,727.5	+0.05
2014(平成26)年度	1,623.8	-6.39
2015(平成27)年度	1,424.4	-14.0
2016(平成28)年度	1,374.5	-3.5
2017(平成29)年度	1,294.9	-5.8

2013年度から5年間でのCO2削減率は $1,726.7\text{ t} - 1,294.9\text{ t} = 431.8\text{ t}$ (25.0%)で目標は達成しました。

※電力使用量ベースでは、 $2,325,720(2012\text{年}) - 2,159,760(2017\text{年}) = 165,960\text{ kWh}$   
 $165,960 / 2,325,720 = 0.071$ 、削減率は5年間で7.1%でした。

※ガス使用量ベースでは、 $139,592(2012\text{年}) - 129,907(2017\text{年}) = 9,685\text{ m}^3$   
 $9,685 / 139,592 = 0.069$ で、削減率は5年間で6.9%でした。

## 2018年度以降のCO2削減目標について

熊本放送本社ビルは、1998年から翌年にかけて完成しており、当時の設備機器を大事に使っていますが、新築後10年以上を過ぎたところからの機器の故障や老朽化とも相まって、2013年度からの、『5年間でのCO2排出 5%削減』の期間中に、事務フロアを中心に、従来の蛍光灯照明から、普及が進んでいたLED照明に交換したのをはじめ、他の機器類は、故障交換の時に、省エネ効率が高いことも考慮に入れて機器の取替えを進めてきました。しかし、ハード面での省エネ・CO2削減効率の伸びは、省エネ技術の確立とともに、今後は緩やかなものになると思われ、その分、社員・スタッフの省エネ意識・エコ意識の更なる醸成など、ソフト面での省エネもさらに進めていくべきものと考えます。

弊社では、冒頭の基本理念、基本指針にも記したとおり、弊社の事業活動でのCO2削減をさらに進めるため、次の5年間のCO2削減目標も、5年間で5%削減を目標とします。

目標年度	CO2排出量 (t-CO2)	前年比削減率 (%)
2018(平成30)年度	1,035.4	-16.2%
2019(令和元)年度	1,068.3	+3.2%
2020(令和2)年度	1,310.1	+22.6%
2021(令和3)年度	1,010.3	-22.9%
2022(令和4)年度	1,086.8	+7.5%

※2018年度のCO2削減率は、2017年のCO2排出量 1,294.9 t-CO2を基準として計算

※参考：2022 年度における、電気とガスによる CO2 排出量

電気使用による CO2排出量 (t-CO2)

$$\begin{aligned} &= \text{電気使用量 (kWh)} \times \text{九州電力発表の CO2排出係数 (0.000453 t-CO2/ kWh)} \\ &= 1,777,452 \text{ kWh} \times 0.000453 \text{ t-CO2/ kWh} = 805.1 \text{ t-CO2} \end{aligned}$$

ガス使用による CO2排出量 (t-CO2)

$$\begin{aligned} &= \text{ガス使用量 (m}^3\text{)} \times \text{西部ガスの CO2排出係数 (0.00225 t-CO2/ m}^3\text{)} \\ &= 125,207\text{m}^3 \times 0.00225 \text{ t-CO2/ m}^3 = 281.7 \text{ t-CO2} \end{aligned}$$

電気とガス使用による CO2排出量 (t-CO2) の合計

$$= 805.1 \text{ t-CO2} + 281.7 \text{ t-CO2} = \underline{\underline{1086.8 \text{ t-CO2}}}$$

## 熊本放送SDGsに関する情報発信など

### ■SDGsに関する情報発信

RKK は「SDG メディア・コンパクト」に加盟、熊本県内のさまざまな取り組みと SDGsの重要性を人々に伝え、環境への取り組みとも関わりの深い SDGsの普及・拡大と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

ORKK SDGsサイト

[https://rkk.jp/sdgs/#sdb\\_con03](https://rkk.jp/sdgs/#sdb_con03)

「夕方Liveゲツキン！」SDGs 企画アーカイブ

<https://rkk.jp/sdgs/archive.html>

### ■イベント

○「みどりと遊ぼう！立田山グリーンウォーク」 毎年秋開催(2023 年は 9 月 16 日開催)

熊本市内にある自然林・立田山を親子で歩き自然の恵みに触れ、自然の大切さを伝える体感型イベント。当日、「緑の募金」活動を実施、集まった募金は全て熊本県緑化推進委員会を通じて、緑の保全活動に役立てています。

【この件に関する、お問合せ先】 〒860-8611 熊本市中央区山崎町 30

株式会社熊本放送 総務局

電話 096-328-5540